



きよさとっ子

「みんなも幸せ」の原動力

校長 遠藤 哲也

「みんなも幸せ」をつくる様々な活動に、全校の子どもたちが進んで取り組んでいます。その中でも、心に残る2つの活動を紹介します。

【サポート学級の子ども】

- ・全校のみんなに笑顔になってほしい。
- ・みんなが(自分の)直したいところを退治してほしい。

願
い

【5年生の子ども】

- ・もっと信頼される学校にしたい。
- ・被災された方のために、米の売上金や義援金を贈りたい。

↓ 願いを活動として実現するために… ↓

- ・豆まきの代わりに、玉投げにしてみよう。
- ・全校に、退治したい鬼を考えてもらおう。
- ・楽しいゲームや歌も入ると楽しいな。
- ・みんなが参加できる時間にしないと。
- ・校長先生にイベントの許可をもらおう。

具
体
化

- ・米の販売で多くの売上金や義援金が集まったけど、誰に送るといいのだろう。
- ・米や清里につながりのある所はないかな。
- ・直接私たちの思いを伝える機会が欲しい。
- ・交流する際は、楽しんでもらいたい。

2/5「全校節分イベント」

2/7「3校オンライン交流会」

実
施

子どもと職員がみんなで手をつないで、大きな円をつくり、予定になかった「マイムマイム」も踊って、みんな笑顔に！

輪島市立町野小学校と能登町立柳田小学校と自己紹介ゲームで和やかなムードになった後、総合的な学習の発表で、互いに感心。

クラスの皆から、「うれしかった」「また計画してほしい」などありがとうメッセージをもらってうれしかった。またやりたい。

振
り
返
り

私たちと似た思いで地域に貢献していこうという気持ちがあって、何かうれしかったし、お互い頑張ろうと思った。



「自分も幸せ・みんなも幸せ」の実現+「幸せ」のループ



このように、サポート学級や5年生の子どもたちが幸せづくりを実現できたのは、「誰のために(相手意識)」と「何のために(目的意識)」をしっかりと定めたことです。本気になって、相手の気持ちや立場を考えたからこそ、全校や石川県の小学校の皆さんも喜びや幸せを感じ、感謝の言葉が届けられたのだと思います。そして、「もっと幸せを」と願う無限ループの始まりです。

こんなに素敵な子どもたちに囲まれ、私たち職員も「みんな幸せ」です。



1月、2月のトピック



1/23 中・高学年スキー教室

今年度から中・高学年合同で実施したキューピットバレイでのスキー教室。代表児童のはきはきとしたため発表で士気も上がり、元気よく練習がスタートしました。初挑戦の子どもたちも含めて、どの班もリフトに乗ってグレンデを滑る楽しさを味わうことができました。保護者ボランティアの皆様、指導者の皆様、ありがとうございました。



2/3～ありがとうで心ぼかぼか旬間

生活目標に合わせて、「ありがとうメッセージ」を伝える活動に全校で取り組み、校内に感謝の輪が広がっています。



2/4 6年平和学習

旧菅原小学校卒業生の横瀬和夫さんから、戦時中の体験談や未来を担う子どもたちに向けてエールをいただきました。



2/5 節分イベント

サポート学級の子どもたちの企画で実現。自分の追い出したい鬼と赤鬼・青鬼を赤白玉で追い払い、ダンスなど楽しみました。



2/5 清里中入学説明会

中学1年生から学校生活や学習について、クイズを交えながら説明があり、具体的なイメージをもつことができましたようです。



2/7 5年3校交流会

被災した能登の2校の5年生とオンラインで交流したよつば子。米作りの様子を伝え合い、復興へのエールを送りました。



2/12 新1年生体験入学

新1年生が4月からの小学校生活を楽しみに登校できるよう、1年生と5年生が、それぞれアイデアあふれる交流を進めました。



雪道の登下校時の安全確保について



2月に入り本格的な降雪があり、雪遊びなどを存分に楽しめる環境となりました。しかし、登下校の危険性は高まったので、改めて積雪時の注意点を指導しました。ご家庭での再確認や地域の皆様からもご配慮いただけると幸いです。よろしくお願いいたします。



HP
随時更新中